

女と男がともに生きる未来へ

step

世界を

女性力



自分
らしさ

つくる

vol. **20** 泉南市

「違い」が世界をつくる力になる



「女性だから」
その一言で自分らしく生きることができない人が
まだまだたくさんいます。
でも最近「女性だからこそできること」=「女性力」が
注目されています。



出産、子育て、女性ならではの悩み・・・
女性としての経験を必要としている人がいます。

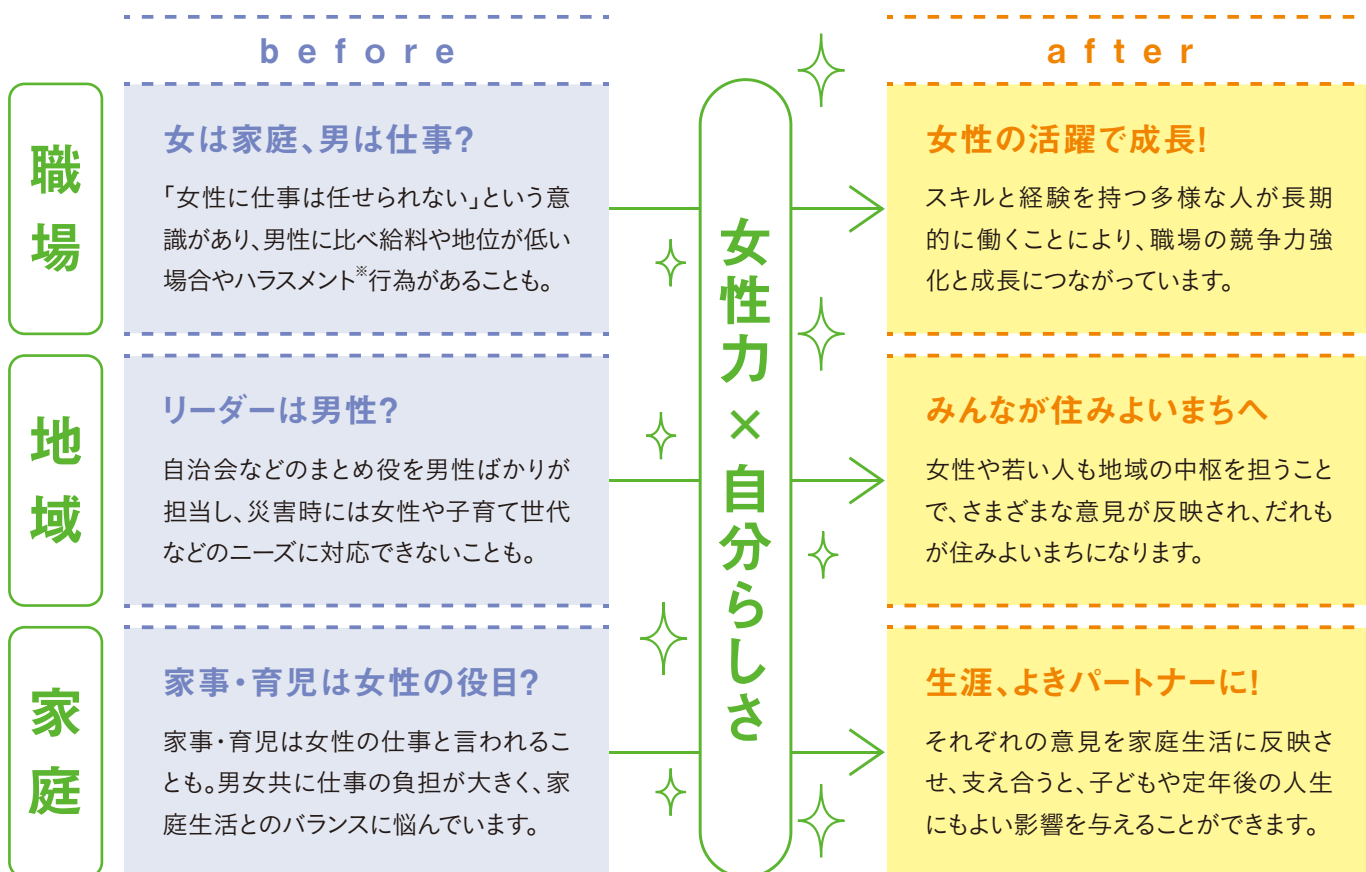


もちろん「女性」だけでなく
私たちのさまざまな「違い」は大きな力となります。
人とは違う「自分らしさ」を活かして、
自分らしい人生と
みんなが幸せになれる世界を
つくっていきましょう。



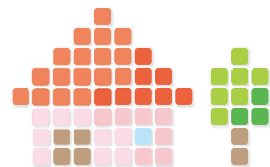
女性力 × 自分らしさ

「女性だからこそ分かること」と「自分だからこそ感じること」が組み合わせられると、さまざまな所で力が発揮できます。
互いの「違い」をひとつに、新たなことに挑戦しましょう。



※ハラスメント…嫌がらせ、いじめのこと。相手が不快に感じる性的な言葉や行為をする「セクハラ」や妊娠・出産をきっかけに嫌がらせをされる「マタハラ」などがあります。

Interview 地域力を一緒に高めよう



「地域活動って大変そう」「私にはできない」、そんなことはありません。みんなそれぞれの力を活かし、経験を積み、活躍されています。ぜひ一緒にまちづくりをしてみましょう。

泉南市婦人防火クラブ

副会長

江川 勝代さん



泉南市ファミリー・サポート・センター

協会員

吉本 信子さん



Q 活動の内容を教えてください

広報車での防火広報や防災訓練の支援などを行っています。消防出初式では炊き出し訓練を実施し、豚汁を作って、みなさんに喜んでいただきました。

利用会員さんとペアリング(顔合わせ)をした後、依頼を受け、保育園や習い事などの送迎、自宅で預かるなど、子育てのサポートをしています。

Q 活動をはじめたきっかけは?

防火クラブは「家庭防火は主婦の手で」を合い言葉に設立されました。私はクラブの母体である婦人団体協議会から参加して30年以上続けています。

仕事を退職し、子育ても一段落していたので。ほんの少しでも力になれば、働く保護者が仕事を辞めなくてもよいのではと思いました。

Q 活動を続ける上で大変なこと、努力していることを教えてください

女性も働いている方が多いので、若い方の参加は少ないです。ただ最近はお仕事を退職された方も精力的ですので、にぎやかに活動しています。

預かっているときケガがないようにすることが一番。依頼があれば食事は我が家と同じものを用意。子どもが気に入った料理のレシピを保護者に教えることもあります。

Q 「女性だからこそできること」と感じたことはありましたか?

被災後の暮らしに配慮ができるのは日頃家庭を守る私たちだと思います。炊き出し訓練もその一環で「食」の重要性について伝えています。

お母さんの代わりというよりおばあちゃん目線。「しつけ」を考えず、自分の子どもの時よりゆったりとした気持ちで接することができます。

Q 「やっていてよかった」、と思うことはなんですか?

住宅用火災警報器の普及活動については自治会に働きかけ、大きな成果がありました。目標を共有できる仲間との活動は生きがいにもなっています。

子どもから「大好き」と言われたり、保護者から「助かりました」とお礼やお手紙をいただくと、私でも役に立てるんだと嬉しくなります。

Q 活動参加を考える方、支援を利用される方に一言お願いします

女性、地域の防災力を高めていくことが重要。自主防災組織、防災訓練への参加などを呼びかけ、みなさんの防災意識を高めていきたいです。

子どもを預け、仕事やリフレッシュに時間を使うことは決して後ろめたいことじゃないです。もっとたくさんの方に利用、支援いただきたいです。

問い合わせ先：泉州南消防組合泉州消防署
TEL 072-485-0119

活動内容：隔月広報活動ほか年1回防災講習。防災訓練などの支援もあるが、参加については任意。

問い合わせ先：泉南市ファミリー・サポート・センター
TEL 072-483-9665

活動内容：活動できる内容や時間帯などを登録し、自分の都合に合わせてできる有償のボランティア。活動には研修の受講が必要。

「自分らしさ」で支え合おう

「自分らしさ」とは好きなもの、嫌いなもの…そんな積み重ねから見えてきます。性別、学歴、仕事もちろん自分らしさですが、それよりも得意なことや楽しいことをみんなで出し合い、支え合うことで家庭や地域をよりよくしていくことができます。



家庭の中で

配偶者に対して… 妻だから夫だからと役割を決めず、それぞれの得意分野や仕事、身体の調子などを日々話し合い、家事や育児を助け合いましょう。

子どもに対して… 子どもの数だけ育児の仕方があり、お父さん、お母さんどちらにも初めてのことだらけです。親戚や友人等にも相談しましょう。また思春期の子どもにとって、同性の親は心強い味方になります。

地域の中で

日々の生活で… 挨拶やゴミ出し、清掃活動やお祭りへの参加など、少しでも隣近所、地域の人と関わっていれば、互いへの気遣いが生まれ、緊急時にも支え合える関係ができあがっていきます。

地域活動で… 定期的に参加できなくても、チラシの作成やバザー品集めなど、仕事のスキルを活かす参加方法もあります。家族みんなで地域支援をしましょう。

Column

親しい人であっても暴力は犯罪です

配偶者や交際相手、自分の保護下にある人(子どもや高齢者)に対し、身体的、精神的な暴力を振るうことは犯罪であり、絶対に許されない行為です。暴力を振るう人、振るわれる人、周囲の人にも勇気を持って、相談窓口などに相談しましょう。



「その人らしさ」を受け入れよう

人は性別、年齢、出身地、血液型などのくくりで、先入観を持ってしまいがちです。「女だから野球をするのは変」「男なのに保育士なんて変」など価値観を押し付けられ、自分らしく生きられない人がたくさんいます。たとえ、誰かが受け入れてくれなくても、あなたが受け入れることで前を向ける人がいます。違いを尊重し合い、だれもが自分らしく生きる世界をつくっていきましょう。



Column

さまざまな生き方「性的マイノリティ」

性別といえば、男性と女性に分類されていますが、その枠に当てはまらない人もいます。身体の働きや特徴が男女に分けられない人、体の性と心の性が一致しない人、性的対象が同性である人…人それぞれの生き方があります。



Interview

人と向き合うために まず自分と向き合ってみましょう

心理カウンセラー

コミュニケーショントレーナー

のざき ひでか

野崎 淑香さん

私が「自分と向き合う」きっかけになったのは、子どもの不登校でした。不登校は子どもの問題だけでなく、親子の関わり方や自分の生き方を問われていると気づき、初めて子どもと向き合えました。

一人では乗り越えることは簡単ではありません。そこで私は同じような体験をされた方の話を聞いたり、自分の体験を話して共感してもらえる場づくりをしています。参加された方は、だんだんと子どもの人生と自分の人生が別のものだと思える境界線を引けるようになり、子どもの生き方、性格など、その子「らしさ」を尊重し、寄り添っていかれています。

私が特に気をつけていることは、「否定しないこと」「気持ちを尊重すること」です。子どものどんな行動にも、必ずわけがあることを信じ、人格を否定しないよう心がけることで、信頼関係が築けるようになってきます。プラスの言葉で「勇気づけ」をするようにします。子どもは、親に否定されず、自分自身

Profile

自分の子どもの不登校から、アドラー心理学に出会い、価値観や生き方が変わる。それ以後、さまざまな心理学を学び、自育てや子育て講座など、子育てに悩んでいるお母さん方の相談活動が続いている。岬町在住。



を信じられるようになると、自ら進む方向を決めて歩みだします。

「自分と向き合う」「自分らしく」と言われても、とまどってしまうこともあるでしょう。そんな時はまず、ひとつひとつ自分のことを考えます。好きな色、欲しかった物、嬉しかったこと、悲しかったこと…など、自分を見つめ、大切に考えます。人はどんな時も、ひとつひとつ自分で選んで決定しているのです。「私は～させられた」という生き方ではなく、「私は～した」という生き方の方が、自立した自主的な生き方だと思われませんか？

どんなにマイナスだと思える時も、必ずプラスのことが見つけられます。子どもが不登校になった時、私はどん底で何の希望もないと感じていましたが、それは生き方や考え方を変えるチャンスでもあったのです。決してあきらめしないで、少しずつ前を向いていきましょう。

・こころの居場所「すまいるはうす」/毎週火曜日：午前10時～午後1時

●自由に話ができる居場所づくり

・学校に行きたがらない子をもつ親の会「フラワーズ」/月2回木・日曜日：午前10時～12時

・発達障がいと共に考える会「セルフサポートone-by-one」/第3水曜日：午前10時～12時

●「親子のコミュニケーション講座」・「勇気づけ講座」を随時開催しています。(要予約)

主に岸和田市より南方面で活動。家族や自分自身との関わりについても相談できます。

詳しくは090-9046-1422(野崎さん携帯電話)まで。 <http://flowers590.jimdo.com/>野崎カウンセラー/

Column

「知る」から「受け入れる」へと変わる多文化教育

多文化教育は「外国の文化を知る」から、在日外国人、性的マイノリティ、障がい者など人間の違いを見つめ直し、受け入れる教育へと変わってきています。ゲームやお芝居を通し、自分と他者との関わりや差別を読み解く力と行動力を育てます。



相談窓口

【人権相談】

いじめ、虐待、セクハラなど日常生活の中で起きる人権侵害についての相談を人権擁護委員がお受けします。

■ 市役所本庁1階市民相談室

第3金曜日／午後2時～4時

お問い合わせ TEL 072-480-2855 (人権推進課)

【DV相談】

男性もご相談ください

DV(ドメスティック・バイオレンス)の相談をお受けします。相談者の秘密は守られます。来所相談もお受けします。

■ 大阪府岸和田子ども家庭センター

月曜日～金曜日(祝日をのぞく)／

午前9時～午後5時45分

TEL 072-441-7794

【女性のための相談】

女性相談(面接)

静かな個室でカウンセラーがじっくりとお話を聴きます。相談時間は1人1時間程度です。

■ せんなん男女平等参画ルーム相談室

第1金曜日／午後1時～4時、第2火曜日／午後6時～9時、第4金曜日／午前10時～午後1時

※電話予約が必要です。都合のよい日を申し込んでください。

お問い合わせと予約 TEL 072-480-2855 (人権推進課)

女性のための電話相談

専門の相談員が電話で相談をお受けします。

■ せんなん男女平等参画ルーム相談室

毎週木曜日(祝日と第5木曜日をのぞく)、午前10時～12時、午後1時～3時

TEL 072-482-0590

stepインフォメーション

女性の活躍状況の「見える化」が進んでいます

内閣府は企業での女性の活躍を推進していくため、各企業の取り組みの現状を数値化し「見える」ようにする「女性の活躍『見える化』サイト」を公開しています。企業での取り組みや就職活動などの参考にしましょう。

<http://www.gender.go.jp/policy/mieruka/company/mierukasite.html>

泉南市男女平等参画情報誌「step」が20号発刊

1995年以来20年にわたり、多くの方々に支えていただき、このたび「step」20号を発刊することができました。今後も男女平等参画社会の実現に向けた情報をお届けできるよう心がけてまいりますので、末永くご愛読いただきますようお願い申し上げます。



発行／泉南市人権推進課

〒590-0521 泉南市樽井9-16-2(人権ふれあいセンター内) TEL 072-480-2855

ホームページ <http://www.city.sennan.osaka.jp/> Eメール jinken@city.sennan.lg.jp

平成27年11月